

かがやきプランによる三重県の実組

（令和3年度実績及び令和4年度状況）

三重県医療保健部
医療介護人材課

- 5 地域包括ケアシステムを支える介護人材の確保
および業務効率化の実組
- （1）介護人材の確保（医療介護人材課分）

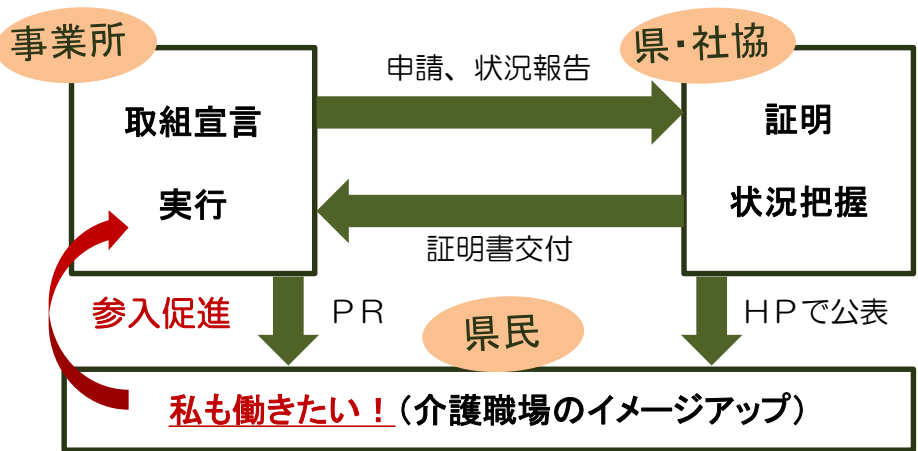
①働きやすい介護職場応援制度

- 内容
- (1) **介護事業所が**、職場環境の改善に取り組む内容について「**取組宣言**」
 - (2) **県が証明**し、広く県民の皆さんに**公表**
 - (3) **働きやすい職場づくり**に取り組む事業所が**評価される仕組みを構築**

●宣言事業所数

平成30年度末	19法人 175事業所
令和元年度末	32法人 217事業所
令和2年度	31法人 243事業所
令和3年度	31法人 244事業所
令和4年度（12月末時点）	35法人 263事業所

- 目的
- 介護職員の**確保・定着**
介護サービスの**質の向上**



取組事例① 特別養護老人ホーム美里ヒルズ

○理念教育

価値観・ケア方針を共有し、
職員の定着と安定したサービスの提供を図る

○チューター制度の導入

新人1人に先輩1人を相談役として1年間付け、
採用直後の離職を防止

○勤務時間・夜勤の選択制

30分刻みの日勤シフト、夜勤を8h、16hから選択

○24Hシートを活用したOJTの実施

利用者ごとの24Hシート（生活リズム・自分でできる事・職員の仕事等）作成
OJTで活用し、職員誰もが一人ひとりの利用者に合ったケアを実施

○介護リフト・移乗ボードの導入

理学療法士がリフトインストラクターの資格を取得し、福祉用具を効果的に導入
職員の負担軽減だけでなく、利用者の安心にもつながる



取組事例② 特別養護老人ホームぬくもり園

○個人面談

職員が管理者へ相談しやすい職場環境づくりのため、
全職員の個人面談を実施

○再雇用制度の見直し

定年後65歳まで再雇用（正規職員と同等の待遇）
65歳以降も短時間勤務で継続雇用

○福祉機器等の導入

1ボタン自動洗濯機、
汚物の付いた衣類をそのまま洗える汚物処理器、
腰に負担の少ない個別浴槽などを積極的に導入

○多様な勤務形態の実現

シフトを4種類→11種類へ、短時間勤務制度・介護補助業務を新設
高齢者・障がい者・子育て家庭など、職員が辞めずに柔軟に働ける環境へ



介護福祉士修学資金の概要

○ 介護職を目指す学生の増加と入学後の修学を支援するとともに、卒業後の介護現場への就労・定着を促進する。

事業実施イメージ

平成30年度から貸付枠を20名から40名に拡大
令和 2年度からは再就職準備金貸付上限を20万円から40万円に拡大

- 養成施設入学者への修学資金貸付
- 貸付額(上限)
- 介護福祉士養成施設修学者
- ア 学 費 5万円(月額)
 - イ 入学準備金 20万円(初回に限る)
 - ウ 就職準備金 20万円(最終回に限る)
 - エ 国家試験受験対策費用 4万円(年額) 等

【実施主体】
都道府県又は都道府県が適当と認める団体
【補助率】 定額補助(国9/10相当)



5年間 介護の仕事に継続して従事

(貸付実施後、一定期間内に福祉・介護の仕事に就職)

(途中で他産業に転職、自己都合退職等)

【他産業の仕事又は未就労】

借り受けた修学資金等の返済を全額免除。



介護福祉士養成施設の学生

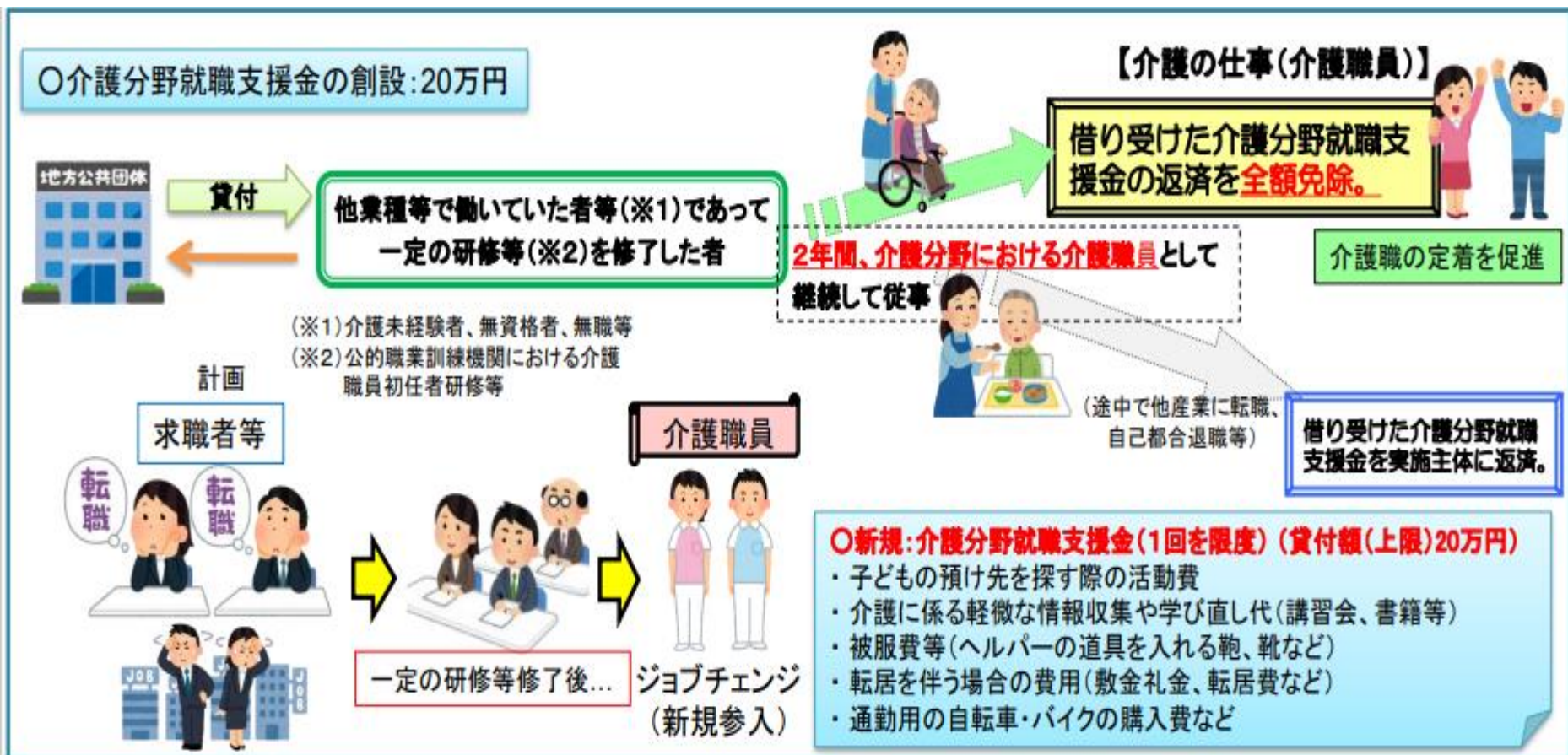
(他産業に就職又は未就労)

借り受けた修学資金を実施主体に返済。

③介護福祉士修学資金等貸付制度 ～Ⅱ.介護分野就職支援金～

○介護分野就職支援金貸付事業

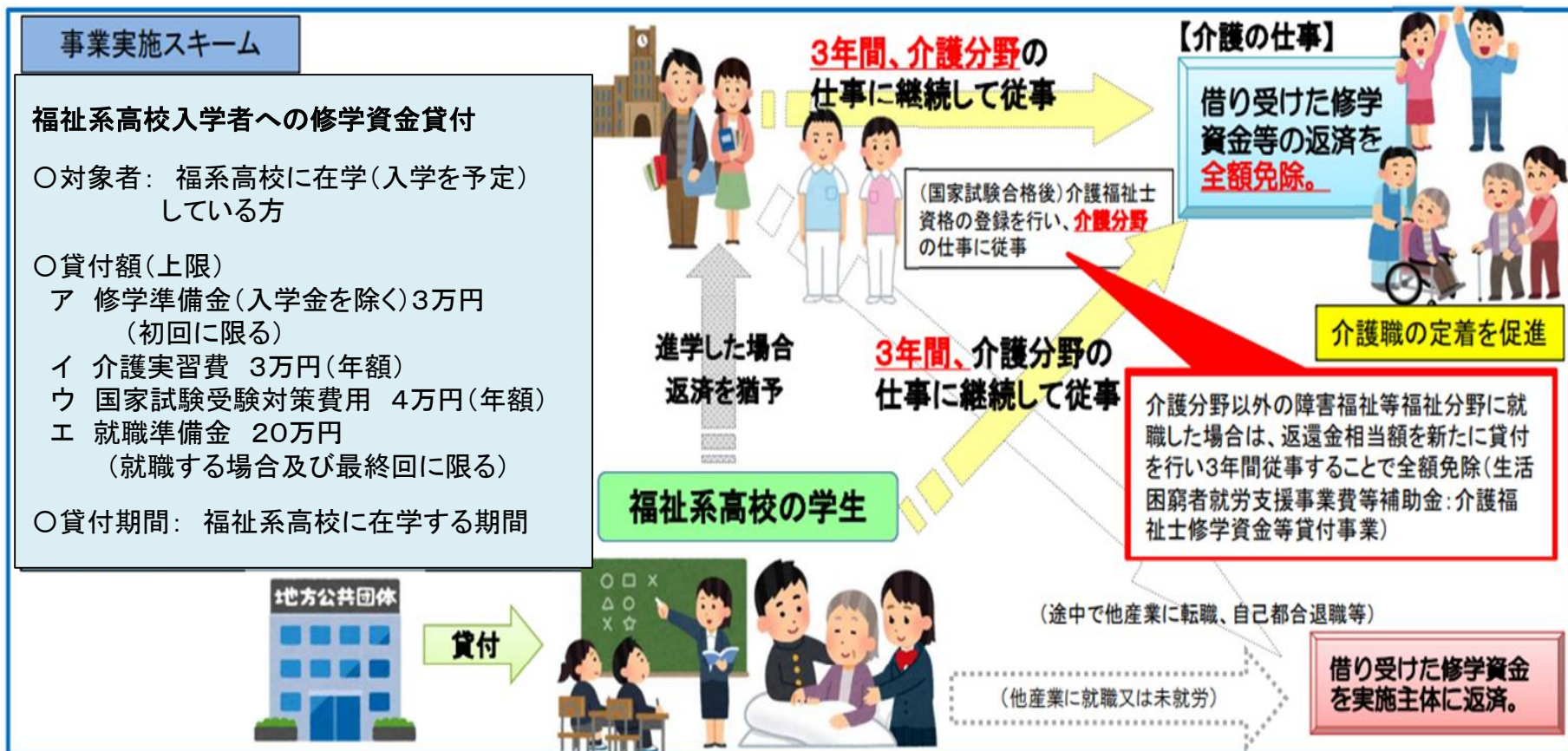
他業種で働いていた方等の介護分野における介護職としての参入を促進するため、就職の際に必要な経費に係る支援金の貸付を実施



④介護福祉士修学資金等貸付制度 ～Ⅲ.福祉系高校修学資金～

○福祉系高校修学資金貸付事業

福祉系高校に在学し、介護福祉士の資格取得をめざす学生に修学資金の貸付を実施し、若者の介護分野への参入と、介護人材の育成及び確保・定着を支援



社会・援護局関係主管課長会議資料(R3.3厚生労働省福祉基盤課福祉人材確保対策室)より

⑤老人保健施設の「介護助手」導入の取組

<目的>
地域の元気な高齢者を「**介護助手**」として育成し、
介護職場への就職を支援
⇒介護人材の「**すそ野の拡大**」、「**人手不足の解消**」
「**介護職の“専門職化”**」

<事業概要>

(1)事前説明会の開催(参入促進)

(2)就労マッチング(就業支援)

(3)職場OJT研修の実施(労働環境の整備)

「**地域医療介護総合確保基金**」
を活用し、平成27年度から実施



事業のねらい（3本の柱）

1
介護人材の確保

- ・介護の担い手を増やす。
- ・介護職の労働環境が整備され、**介護職を専門職化**することが可能に。
介護職が本来の介護業務に専念！

2
高齢者の就労先

- ・住み慣れた地域の中で、自分に合った時間に働ける
新たな高齢者の就労先ができる。

3
介護予防

- ・働きながら介護を学ぶ、介護の現場を知ること、一番の「**介護予防**」になる。

<成果・事業実績>

	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4 (見込)
実施施設数	9 施設	18 施設	10 施設	13 施設	19 施設	7 施設	8 施設	11 施設
説明会参加者数	251名	226名	240名	171名	82名	18名	36名	実施中
採用者数 (3ヶ月のパート雇用)	57名	89名	48名	58名	39名	12名	17名	実施中
事業終了後の 継続雇用者数	47名	81名	47名	52名	35名	10名	16名	実施中

●現場の声
(介護職員・施設)

- ・これまで以上に業務に集中できる。
- ・利用者の満足度が上がった。

●現場の声 (介護助手)

- ・70歳と言えど、まだまだやれる自信がついた。
- ・役に立っているなと感じられ、やりがいを持てた。



ベッドメイキング
食事の配膳
など



実施状況

- ・ **他種施設への広がり**
- ・ **全国的な広がり**
- ・ **マニュアルの活用**
- ・ **介護助手等普及推進員の配置**

→ 特養(H29年)及びグループホーム(H30年)でも事業展開

→ 25都道府県で実施 (*H304月現在 (公)全国老人保健施設協会調査)

→ 平成30年度作成のマニュアルを活用し事業展開

→ 令和4年度から県福祉人材センターに配置し、介護事業者と介護助手希望者とをマッチングする仕組みを構築

⑥外国人介護人材確保対策

○外国人留学生奨学金制度への支援

介護事業所が介護福祉士養成施設の留学生に対して貸与等する奨学金の一部を助成

	事業所数	留学生人数
令和2年度	14事業所	41人
令和3年度	18事業所	82人
令和4年度	25事業所	114人

○外国人介護人材集合研修の実施

外国人技能実習生及び1号特定技能外国人の介護技能向上等のための集合研修を実施

	研修実施団体	受講人数
令和2年度	2団体	延べ193人
令和3年度	4団体	延べ447人
令和4年度	4団体	実施中

第8期計画 介護人材確保対策

介護人材の確保・定着

- 三重県福祉人材センターにおける無料職業紹介事業の実施、キャリア支援専門員による介護職場への就労希望者と事業所のマッチング支援
- 中学校や高等学校を訪問し、生徒、保護者、教員に介護の魅力を伝える福祉の仕事セミナー等の実施により若い人材の参入促進
- 介護に関心のある方を対象とする職場体験事業の実施
- 介護未経験者に対する入門的研修の実施により多様な人材の参入促進
- 離職者や中高齢者、若者等に対する介護職員初任者研修、潜在的有資格者に対する介護に関する知識等を再確認する研修の実施
- 介護福祉士修学資金等の貸付により資格取得をめざす学生の支援
- 外国人留学生を雇用する介護施設が支給する奨学金への支援
- 外国人技能実習生等への介護技能向上等のための集合研修の実施
- 介護職員（等特定）処遇改善加算の取得促進
- 離島・中山間地域等における人材確保支援により新規参入を促進

介護職員等の養成 および資質向上

- 介護職員初任者研修事業者の指定、公表、指導
- 社会福祉施設職員研修実施の支援
- 喀痰吸引等研修機関、修了者の登録
- 介護支援専門員研修の実施

介護の担い手に関する取組

- 地域の元気高齢者等が介護職員の周辺業務を担う介護助手の導入促進
- ボランティア活動、就労的活動による高齢者の社会参加の促進等、市町の取組の支援

業務効率化の取組

- 介護職員の負担軽減と専門職化が可能となる介護助手の導入
- 介護ロボット、ICTの導入支援により職場環境の改善、介護従事者の負担を軽減